

国際シンポジウム題名	京都大学国際シンポジウム 第 4 回 先住民言語およびマイノリティ化された言語の再活性化に関する 国際会議		
開催日	令和 7 年 9 月 12 日～ 令和 7 年 9 月 14 日(3 日間)		
主催部局	人間・環境学研究科		
開催地	国名	日本	
	開催地	京都市	
	会場名	京都大学吉田南キャンパス	
共催大学・機関名	Linguapax Asia / 多言語社会研究会		
シンポジウム開催概要	国内外から 220 人に上る研究者や活動家、大学院生などが参加した。第 4 回となる今回は初のアジア開催である(第 1 回スペイン、第 2 回ブラジル、第 3 回スペイン-フランス)。国際会議の名にふさわしく、全参加者の 6 割超を日本以外の参加者が占め、使用言語を限定しないという会議運営上の特徴もあいまって、3 日間の期間中、会場は本当の意味での多言語空間と化した。 会議では最終的に、基調報告 7 件、個人発表 72 件、パネル 11 件、ラウンドテーブル 2 件、ワークショップ 5 件、全体セッション 2 件が実施された。		
参加者数(聴衆を含む)	220 人		